日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	実務演習 2	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	150時間
単位数	5単位	授業形態	実習		
教科書/教材	授業配布資料				
担当教員情報					
担当教員	高田博章、本田茂樹、鈴木則次、遠藤隆洋		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的					
<p>企業連携課題として、実務的な知識を必要とする設計課題に取り組む。地域企業・地域行政との連携を考え、地域企業の問題を学生が解決することをテーマに、事前調査の段階では関係各所等と協議し、必要とされる情報を自ら収集し、敷地調査からマーケティングなどを行い、問題解決の糸口を見出し、実務を体験することを学習目的とする。</p>					
到達目標					
<p>建築設計者に必要なスキルとして、社会に適合する建築物を設計するための能力を身に付ける。クライアントなどの関係者や周辺地域、社会情勢などを踏まえ「希求される建築」を計画することを目指し、社会に出た際の建築家倫理、職業能力を養うことを到達目標とする。</p>					
教育方法等					
授業概要	「設計計画2」との関連を持って行われる。「設計計画2」で学習している設計案やプレゼンテーションの修正等を行う。自らの設計案がどのような点を改善すれば実現することが可能となるかを検討し、そのための改善を行う。				
注意点	「設計計画2」の授業と関連があるため、欠席をしないように注意すること。自らの計画案と関連のある資料・文献等を収集すること。配布する資料するは毎回の授業に持ってくる。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	50%	設計課題への取り組み、完成度について評価する。		
	レポート	20%	事前調査報告書の内容を評価する。		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	課題説明（連携先企業より）	過去の成果物等や連携企業からの課題説明を踏まえ、課題の主旨を理解する。			
2回	敷地調査・周辺調査	課題敷地および周辺状況調査、対象物件の既存調査（寸法等）ができる。			
3回	対象物件の既存図作成①	既存調査で得た情報を基に、既存図面を作成することができる。			
4回	対象物件の既存図作成②	既存図面を基に、写真と照らし合わせ、劣化度等状況を把握することができる。			
5回	既存物件調査報告書作成	既存図作成①②を踏まえ、現状の物件の問題点等発表することができる。			
6回	計画案①の作成	コンセプトの策定、問題点の明確化、改善ポイントの明確化を行うことができる。			
7回	計画案①の展開	担当教員とのエスキスを通して、自己の案の改善・修正を行うことができる。			
8回	計画案②の作成	計画案①を踏まえ、さらに改善された計画案②を作成することができる。			
9回	計画案②の展開	担当教員とのエスキスを通して、自己の案の改善・修正を行うことができる。			
10回	中間発表	他者に伝わるようプレゼンテーションすることができる。			
11回	実施案への展開①	計画案から実施案への展開を行うことができる。			
12回	実施案への展開②	計画案の構造計画を行うことができる。			
13回	実施案への展開③	計画案の展開図、仕上げを作成することができる。			
14回	実施案への展開④	計画案の概算予算、展開図をさくせいすることができる。			
15回	最終発表	他者に伝わるようプレゼンテーションすることができる。			